

第2回散布小中学校小中一貫教育校開設推進委員会

1 開催日時	令和7年10月16日（木）18:05～19:10			
2 会場	浜中町立散布小中学校 2階図書ホール			
3 出席者氏名	【氏名】 阿部浩和 泉谷大輔 南 光晴 鈴木速人 寺田 順	【所属】 PTA顧問 PTA顧問 PTA会長 PTA副会長 教育委員会指導室長	【氏名】 楠美健也 富岡昭年 大山淳子 和田 繁	【所属】 散布中学校教諭 散布小学校教諭 散布小中学校校長 散布小中学校教頭
	(欠席：荒川浩一、田中英昭、増井望美)			
4 会議次第	1 開会の言葉 2 校長挨拶 3 議事 ①学校名及び校章・校歌について ②めざす子どもの姿について ③学校教育目標の見直しについて ④その他 4 会長挨拶 5 閉会の言葉			
5 協議内容	3 議事 ①学校名及び校章・校歌について ・現行のものをそのまま継承でどうか → そのままでよい ②めざす子どもの姿について ・昨年度末に教職員で協議して設定した人間像を、まずは教職員・児童生徒・保護者地域とで共有するところからのスタートでどうか。 →多すぎて詰め込んでも、できなければ意味がない、なので妥当だと思う →格好をつけても仕様がなかったので（提案通りでよい） ③学校教育目標の見直しについて ・現在のものは昭和45年制定と古く、新しく設定した「めざす人間像」との混同もありわかりづらい。項目も5つと多く、子どもたちが9年間掲げるものとしてふさわしいか、など疑義を感じているため、これを機に改定したい。いかがだろうか。 →変えるせよ、そのままにせよ、決め手がない、こうしたら良いという知恵がない →文言は減らしてよい →5つあると覚えにくい、また、覚えたところで「これ、必要？」ぐらいの感覚 →現行のものは小学生寄りの文言、小学生ばい →「これ、あったの？」ぐらいの感覚、見えるけど書いてあるだけ →学校教育目標は9年間通して意識していくもの、なので小学生向けの文言が適当か →小中とも自分で考えて判断する力、自律が大切 ○毎日意識させるのであれば ・3つくらいでよい ・当たり障りのない言葉で狭くならず ・あまり具体的にすると苦しくなる の観点で検討、設定 ○急ぐものではないので、教職員の知恵を借りつつ継続して検討していく ○ずっと使うことを前提として設定していく ④その他 ・制服の必要性 → 制服は必要、デザインは変更 ⇒制服検討委員会を先に立ち上げる ・校則、きまり等校内外の生徒指導について検討する委員会も早めに立ち上げる ・次回会議は11月20日(木)18:00から			